
第32回全国公民館セミナー開催

要項

1. テーマ

新しい公民館のカタチ

—コロナに負けない公民館活動—

2. 定員：70人

(定員以上に達した場合は抽選)

※コロナのため、例年より人数を制限しております。

3. 会期：令和3年1月20日（水）～22日（金）

4. 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

5. 主催：公益社団法人 全国公民館連合会

6. 後援：社会教育団体振興協議会、全国公民館振興市町村長連盟

7. この研修の目的

現在コロナ禍にあって、公民館運営は大きな影響を受けています。今回のセミナーでは、新しい公民館像を探るため、公民館はこれからどうあるべきか、またコロナ禍における公民館運営などを検討します。

8. プログラム

※プログラム内容は、予告なく変更することがあります。最新情報は、全国公民館連合会のホームページをご確認ください。

1日目

全体MC：わさび（お笑い芸人）

（1）これからの公民館運営を考える（13：15～16：30）

コーディネーター：牧野篤（東京大学教授）

ゲスト：上田假奈代（特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋代表）

南信乃介（那覇市繁多川公民館館長）

【内容】

「こえとことばとこころの部屋」の上田さんは、大阪で公民館的な芸術にかかわる活動をおこなっています。コロナ禍にあって、多くの団体で活動が制限されておりますが、さまざまな工夫をして、活動を活発化しています。また繁多川公民館館長の南さんはコロナ禍のなか、オンライン講座や館報の発行をしながら、公民館活動が滞らないようにしています。また南さんは、エジプトに公民館をつくるという活動も2年前から継続しておこなっています。これらのお話を通して、公民館とはいったいどういうところなのか、また公民館の活動をこれからどうしていくべきかなど議論をおこないます。

（2）文部科学省の公民館をめぐる動き（16：45～17：15）

横井 理夫（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長）

※公民館にかかわる文部科学省の最近の動きを伺います。

（3）オリエンテーション（17：15～17：30）

2日目

（1）お笑い芸人に学ぶコミュニケーション術（9：00～9：30）

わさび（お笑い芸人）、ピーチキスけん（お笑い芸人）

※公民館でまず求められるもの。それは、住民とのコミュニケーションがうまくできることではないでしょうか。お笑い芸人さんがどんなことに気をつけてコミュニケーションをしているのか、お話を伺います。

(2) ワークショップ (9:45~17:00)

宮城 潤 (若狭公民館館長) 「新しい時代の講座づくり」

※若狭公民館では、コロナ禍の状況にいち早く対応し、オンライン講座やYouTubeによる動画配信などもおこなっています。それらの中味や方法について伺います。

さらに、これからの時代の講座づくりについて、皆さんでワークショップも交えながら検討します。

3日目

集中講義 (9:00~12:00)

牧野篤 (東京大学教授) 「公民館を地域づくりの基盤に」

※公民館がこれからどうすべきなのか、現在の社会情勢や国の動き、また公民館の現状やその他の公民館的な活動状況を踏まえながら、考えます。

講師プロフィール

■ 牧野 篤 (まきの あつし)

東京大学大学院教育学研究科教授

愛知県生まれ。博士(教育学)。専門領域は、社会教育学・生涯学習論で、日本のまちづくりや高齢化と過疎化問題に関心がある。最近では、自治体と一緒に公民館や生涯学習の共同調査を行ったり、多世代交流型コミュニティの構築を進めたり、さらには企業と一緒に「ものづくりの社会化」プログラムなどを運営したりするなどの調査を進めている。著書に、『公民館はどう語られてきたのか—小さな社会をたくさんつくる・1』『公民館をどう実践してゆくの—小さな社会をたくさんつくる・2』『人生100年時代の多世代共生—「学び」によるコミュニティの設計と実装』(いずれも東京大学出版会)など。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員。

■ 南信乃介 (みなみしんのすけ)

那覇市繁多川公民館長

沖縄県那覇市出身。平成12年京都精華大学入学、環境社会学科で市民参加まちづくりの基礎を学ぶ。平成19年特定非営利活動法人なはまちづくりネットに加入し、平成21年度より公民館リーダー。繁多川公民館は、文部科学大臣優良公民館表彰受賞、地域再生大賞優秀賞受賞、朝日教育のびのび賞、農林水産安全局長賞。平成26年3月より特定非営利活動法人1万人井戸端会議を設立。同年4月より那覇市繁多川公民館の一部業務受託団体となり、平成27年4月より指定管理者。現在、繁多川公民館館長。平成29年度から“アラブの春

”後のエジプトとネット中継での合同講座や現地訪問し、日本の公民館をつくる活動も展開中。その他、NPO法人1万人井戸端会議代表理事、NPO法人まちなか研究所わくわく理事、那覇市立識名小学校学校評議員、沖縄県立看護大学非常勤講師など。

■上田假奈代（うえだ かなよ）詩人、詩業家、NPO法人こえとことばとこころの部屋代表

詩人、詩業家、NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表。

奈良県吉野生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。92年から詩のワークショップを手がける。2001年「詩業家宣言」を行い、さまざまなワークショップメソッドを開発し、全国で活動。03年新世界フェスティバルゲートで、ココルームをたちあげ「表現と自律と仕事と社会」をテーマに社会と表現の関わりをさぐる。08年から西成区通称・釜ヶ崎で「インフォショップ・カフェ ココルーム」を開き、喫茶店のふりをし、09年向かいに「カマン！メディアセンター」開設。「ヨコハマトリエンナーレ2014」に釜ヶ崎芸術大学として参加。16年、地域の人たちと旅人とののであいをつむぎたいと考え、同商店街で30数ベッドの「ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム」を開く。コロナ渦でも活動が停滞しないよう、さまざまな工夫と配慮をしながら活動継続に努めている。

詩写真集「うた」（WALL）、「こころのたねとして～記憶と社会をつなぐアートプロジェクト」（ココルーム文庫）、「釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム」（フィルムアート社）他。2014年度 文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞受章。

■宮城 潤（みやぎ じゅん）

NPO 法人地域サポートわかさ理事・事務局長、那覇市若狭公民館館長

2006年社会教育指導員として那覇市若狭公民館に勤め、その翌年に非常勤館長、その後、一部業務受託団体事業責任者、指定管理者の館長と4回の職名変更を経ながら若狭公民館勤務15年目。その間、若狭公民館は、全国公民館ホームページコンクール、館報コンクール、インターネット活用コンクールにおいて、最優秀賞6回、優秀賞2回、優良賞1回受賞。第70回優良公民館表彰（2017年度）では「最優秀館」に選ばれる。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員。

■わさびちゃん

タレント、YouTuber

千葉県市川市生まれ。公民館利用サークル主催者の母(2015年没)に連れられ、2歳で公民館に利用者になる。大学でまちづくりとコンテンツ創作を学び、ゼロから何かを生み出す生き方に取り憑かれ、地下アイドルを経てお笑い芸人に。お笑いコンビ「バーゲンセール」のネタ書き担当としてテレビ出演やイベント企画に携わる(2020年解散)。現在、新型コロナがきっかけで仲間と千葉県の古民家に移住し、全国の公民館をまわりながら、公民館のおもしろさを伝える活動を行う。趣味はバイクと車DIY。

大阪府枚方市生まれ。吉本興業所属。15歳まで風呂無しの貧乏家庭でたくましく育つ。お金をかけた遊びができなかったため、遊び場はもっぱら公民館の図書室。おかげでものづくりが好きになる。大阪NSC卒業後、東京に拠点を移し、お笑いコンビ「ピーチキス」として活動。俳優としてドラマ、映画出演も。現在はわさびちゃんとともに古民家に住み、YouTubeチャンネル「TABIBANANA～古民家3人暮らし～」を企画運営する。

- 9. 参加資格** (1) 各都道府県公連から推薦を受けた者
(2) その他全国公民館連合会会長が認めた者

10. 参加費 無料

11. 参加方法

各都道府県公連から推薦をいただいた人のなかから、参加者を決定します。

※推薦書の締め切りは各都道府県公連ごとに異なりますが、全国公民館連合会へは必ず12月16日(水)までに通知をお願いいたします。

※全国公民館連合会直接の受付は、原則としておこなっておりません。

12. 参加にあたって

●会場となるオリンピックセンターから重要なお知らせ●

オリンピックセンターへの入所時に、センター職員によるサーモグラフィーによる検温などの体調検査があります。体温が37.5度以上の方、体調が優れない方、検温を拒否する方の入所はお断りしております。体調検査に時間がかかる場合がございますので、時間に余裕をもってお越しください。

施設内でのマスク着用をお願いいたします。食堂等への移動の間もマスクを着用ください。マスクを着用していない方のご利用をお断りする場合があります。

●全国公民館連合会から諸注意●

- (1) セミナー期間中の宿泊施設は、オリンピックセンター内に確保いたします(無料)。ご希望のかたは、参加者推薦書にてお申し込みください。ただし研修施設のため、一般のホテルのような設備やサービスはありませんので、ご了承ください。部屋はD棟(個室)になります。

※ なお、宿泊は必ずしもオリンピックセンターでなくてもかまいませんが、ご自身で宿泊を別取る場合、ホテルの斡旋や費用補助はございません。

- (2) 「3密」を避け、「人と人との距離を確保」「マスクの着用」「手洗い」をはじめとした基本的な感染対策をしながら研修会を実施いたします。
- (3) 会場の詳細や概要、アクセス方法などは、国立オリンピック記念青少年総合センターホームページ (<https://nyc.niye.go.jp/>) でご案内しておりますので、ご確認ください。
- (4) 原則、全日程の参加をお願いします。
- (5) 何かご相談、ご不明な点がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

14. 問い合わせ

公益社団法人全国公民館連合会 担当：村上 英己（むらかみ ひでき）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-8

TEL：03-3501-9666／FAX：03-3501-3481

E-mail：murakami@kominkan.or.jp